

商工会議所は、市など一定地区内の商工業の世論を代表し、商工業の振興に力を注いで、国民経済の健全な発展に寄与するための地域の総合経済団体です。各県には県内の商工会議所を会員とした商工会議所連合会有り、会員間の協調を図るとともにその意見を集約し、行政機関および他の経済団体などとも連携して、産業経済の改善・発展に寄与することを目的とした事業活動を行っています。

このシリーズでは、中部9県の商工会議所連合会を訪問し、各県の現況や課題、商工会議所連合会、および傘下の商工会議所の活動などについてのお話を伺います。

(公財) 中部圏社会経済研究所

総務企画部 折戸 厚子

第1回 一般社団法人長野県商工会議所連合会

長野県商工会議所連合会概要

住 所：〒380-0904

長野市七瀬中町276 長野商工会議所ビル3F

代表者：会長 加藤久雄（長野商工会議所会頭）

URL：<http://www.nagano-cci.or.jp/kenren/>

創 立：1950年11月30日

一般社団法人移行：2012年4月1日

県内商工会議所数：18

地区内商工業者数：71,702（2011.4.1現在）

県内商工会議所会員数：36,627（2011.4.1現在）



長野県内商工会議所

長野県商工会議所連合会
 長野商工会議所
 専務理事 今井 克明 氏



1. 長野県商工会議所連合会の役割

18の商工会議所の意見を集約

－長野県商工会議所連合会の役割はどのようなものですか？

今井 長野県商工会議所連合会（以下、県連）には、18の商工会議所が所属し、約3万7,000人の会員がいます。

長野県は北信、東信、中信、南信の4つの地域に分かれます。非常に広いうえ、県内は山で遮られて、交通手段が乏しく、言葉も違います。18の商工会議所は、それぞれが独自性を持っており、県連は、そうした県内のさまざまな地域の商工業者の声を一つにまとめ、県や国といった行政機関、

あるいは日本商工会議所に要望をあげていく組織です。まず、県下の課題をまとめて、意見を集約するというのを第一の役割にしています。

また、各商工会議所に共通する会員サービスの質の向上などに取り組むことが第二の役割です。

－具体的な活動を教えてください。

今井 例えば、東日本大震災の際、自粛ムードが広がりましたが、自粛のしすぎで経済活動がおかしくなってもいけない、自粛の緩和が必要だという意見が経済界で出されました。県知事や議会、日本商工会議所に対して、自分たちが頑張ることで被災地を支援しようと自粛の緩和の提案をしました。

それから、県内の交通網の整備では、北では長野（北陸）新幹線の延伸、南ではリニア中央新幹線の建設という大きな課題があります。北は北、南は南で取り組むのではなく、県下全体の課題として、早期の建設促進を行政機関にお願いしています。

さらに、長野県唯一の空港である松本空港を、率先してPRしていこうとしています。自分たちでも積極的に利用するために、会議所の視察にはできる限り松本空港を利用することを前提に計画しています。

各地の商工会議所の支援活動もあります。商工会議所の活動の大きなものに、小規模企業の経営相談がありますが、経営課題を研究したり、商工会議所に情報を提供したり、指導員の資質向上のための講習会を開いたりしています。

会議所名	所在地	会議所名	所在地
長野商工会議所	長野市七瀬中町276	塩尻商工会議所	塩尻市大門一番町12-2
松本商工会議所	松本市中央1-23-1	小諸商工会議所	小諸市相生町3-3-3
上田商工会議所	上田市大手1-10-22	中野商工会議所	中野市中央1-7-2
飯田商工会議所	飯田市常磐町41	駒ヶ根商工会議所	駒ヶ根市上穂栄町3-1
岡谷商工会議所	岡谷市郷田1-4-11	大町商工会議所	大町市大町2511-3
諏訪商工会議所	諏訪市小和田南14-7	茅野商工会議所	茅野市塚原1-3-20
下諏訪商工会議所	下諏訪郡下諏訪町4611	佐久商工会議所	佐久市中込2976-4
須坂商工会議所	須坂市立町1278-1	飯山商工会議所	飯山市大字飯山2239-1
伊那商工会議所	伊那市中央4605-8	千曲商工会議所	千曲市杭瀬下3-9

今年の10月に、「長野技能五輪^{*1}・アビリンピック2012^{*2}」として、松本と諏訪で技能五輪、長野でアビリンピックがあります。

ものづくりを奨励する県として、長野県が誘致した全国大会です。県連としても大会の成功に向けて応援しています。

また、各商工会議所にある青年会、女性会への支援や、役員・従業員の表彰制度のまとめ役、基礎学力の向上やそろばんの普及をはかるために、「そろばんグランプリ・長野」を開催して、上位者を全国大会に推薦するなど、県連の事業は多岐にわたっています。

※1 技能五輪

青年技能者の技能レベルを競う競技大会であり、次代を担う青年技能者の目標として、また優れた技能に触れる機会の提供など、技能の重要性、必要性をアピールし、ものづくりや技能の尊さ、大切さ、素晴らしさを実感してもらうことを目的としている。

※2 アビリンピック

障がいのある人が就労している職業を競技として実施し、技能を競い合う大会。障がいのある方の職業能力の向上、また障がいのある方々に対する社会の理解と認識を深め、雇用の促進と地位の向上を図ることを目的としている。

ー県連として、他の経済団体とはどのような連携をなされているのでしょうか？

今井 長野県には4つの経済団体があります。われわれ長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会、長野県経営者協会、長野県中小企業団体中央会です。それに、時々、長野県農業協同組合中央会も加わって5団体で連携することもあります。

立場はそれぞれ異なり、商工会議所連合会は基本的には市の商工業者の集まりですし、商工会連合会は町、村の商工業者の集まり、経営者協会は大企業数百社の集まり、中央会は中小企業組合が中心です。それぞれ会員は違えど、商工業者の団体という共通した部分もありますから、例えば、先ほどの高速交通網の整備や県の観光推進など共通する課題については、常に情報交換、連携をし、組めるところでは一緒に事業を行っています。

2. 長野県の特徴と産業

長野県は自然が豊かで心やすらぐ県

ー今井専務からごらんになって長野県の特徴はどのようなもののでしょうか？

今井 一概にいうのは難しいですが、自然が豊かで、山あり川あり谷ありのすばらしい自然環境に恵まれて、非常に心やすらぐイメージを持っています。

一方で、古くは生糸の生産から製糸産業、その後諏訪地方を中心にみられますように時計産業、精密機械産業が発展、現在では精密機械産業が精密電子産業へと、ものづくりが昔から脈々と続いています。また、最近では食料品の製造や観光産業なども発展するなど、それらが長野県の特徴になっています。

ー長野県の東日本大震災の影響はどのようなものだったのでしょうか？

今井 東日本大震災の直接の被災地域ではありませんが、翌日、長野県北部地震があり、長野県の栄村一帯が大被害にあいました。それが、長野県全体が大打撃をこうむったという話で伝わったようで、観光客がいっせいにキャンセルするなどの一時的な影響がありました。

震災後にわかったことは、東北とつながりがある産業がけっこう多いということです。県や市が緊急に東日本大震災で影響を受けた県内の企業の支援のため融資制度をつくりましたが、長野市だけで昨年中に115件、20億円を超える借入がありました。

ー長野県は工業ばかりでなく、農家戸数が全国1位と農業もさかんですが、それらに対して、経済界も何か取り組みをされていますか？

今井 直接、県連が関わっているわけではありませんが、各地の商工会議所では、農商工連携がここ何年かの課題になっています。企業が農家と組んだり、逆に農家が起業して、今までと違う需要

を求めて頑張っている例もあります。

企業がブドウ農園を経営したり、ブタを放牧して土地を肥えさせる一石二鳥を狙ったり、地鶏を売り出したり、いろいろな試みがあります。ただ、目に見えて大成功したというような事例はまだ少ないようです。

3. 産業振興のための方策

商工会議所で婚活

—産業振興のための課題は何だと考えておられますか？

今井 景気が良くないことが全てに影響しているので、一番は景気浮揚をはかってほしいですね。

また、人口の減少はこれからの課題です。そして、少子化が進んでいる原因の一つに結婚する人が減っているということがあります。

結婚相談所は民間にもたくさんありますが、産業界としても何かお手伝いしようと、「こんぴあ長野」という組織を長野商工会議所の中につくり、商工会議所の会員企業の従業員の方々を対象に、無料でカップリングのお手伝いをしています。商工会議所が婚活事業をするのは、日本では珍しい試みです。

専門のコーディネーターを1名おいて、カウンセリングの後、お見合いをしてもらったり、パーティーやイベントを開催したりしています。また、今後は、結婚支援を行っている商工会議所以外の公的機関とネットワークを構築して、登録者の希望に応じた全県的な紹介支援、イベントの共同開催や一元的な情報発信などを行っていく予定です。

—長野市以外の商工会議所でもそうした支援事業をしているのですか？

今井 県連を通じて、他の商工会議所でも結婚支援事業を始めたらどうでしょうという啓発をしているところですが、伊那商工会議所でも実施していますし、自前では組織は作らないけれど、「こんぴあ長野」に参加させてほしいという商工会議所

も2か所ほどあります。

株式会社まちづくり長野

—他にも商工会議所の特色のある活動があればお聞かせください。

今井 県下の商工会議所の共通の悩みが、中心市街地の衰退です。各地でいろいろな取り組みがあります。長野市では10年ほど前に、長野商工会議所が中心となって、「株式会社まちづくり長野」という第3セクターをつくり、中心市街地の活性化に取り組んでいます。

その事業に、「パティオ大門」の整備があります。「パティオ大門」のある中央通りは、その昔、税の関係で間口が狭く、奥に細長い店が多く、店の奥に、住宅、庭、蔵があるという形になっています。その形を活かして、店の奥も含めた「面」で開発すればという提案があり、「パティオ大門」の一角を、通りに面した店部分だけでなく、住宅や庭や蔵を活かした昔風な建物で復活させました。全国的にも珍しい試みだと視察が相次いでいます。

今後、もっと「パティオ大門」へお客さんに来てもらうにはどうすればいいのか思案しています。善光寺との距離が少しあるため、観光客向けの店揃えがいいのか、市民向けの店揃えがいいのか、両方の混在がいいのか、よく検討のうえ、なんらかの改善をしていこうとしています。

また、権堂というアーケードの町では、その片隅にあった元着物屋さんの店舗をまちづくりの拠点として借りて、喫茶コーナーを設けながら、町



にぎわうパティオ大門

の皆さんが集まってまちづくりの議論ができるような仕掛けをつくっています。

4. 高速交通網の整備

「陸の孤島」から、オリンピックを契機に
高速交通網を整備

—鉄道、道路でいろいろなプロジェクトを抱えている長野県ですが、プロジェクトの内容と取り組みについてお聞かせください。

今井 昔、長野は、「陸の孤島」と自分たちでも自嘲していました。東京に行くのに、新幹線もない、空港もないので、時間距離で3時間はかかる。県庁から東京へ行くのに、日本の都道府県でいちばん時間がかかりました。

それをなんとか脱しようと、かつて、長野市周辺に空港を作ろうという運動がありました。どこが空港建設地にいいのか、山に登ったり、気球を飛ばしたりして調査しましたが、気象が厳しいことと、自衛隊の訓練飛行空域があることで、東京まで飛行機を飛ばすのは難しいと諦めました。

その後、名古屋との中央自動車道が松本までつながり、さらにオリンピックが来ることになって長野まで伸び、また、軽井沢までだった新幹線がフル規格で長野まで整備され、道路も関東からの自動車道が、高崎から長野、上越まで整備されました。

このように、長野県ではオリンピックを契機に高速交通網がかなり整備されましたが、まだまだ十分ではありません。県内各地を結ぶ道路の整備もこれから推進していかなければいけません。松本から福井県へ延びる中部縦貫自動車道、飯田と三河・遠州を結ぶ三遠南信自動車道、小諸・佐久から山梨県を抜けて静岡で東名自動車道につながる中部横断自動車道などの早期実現を要望しています。

また、南信にリニア中央新幹線が通ることになりますが、そこからの長野県内のアクセスをどう確保するかもこれからの課題です。

通過されない長野への魅力づくり

—北陸新幹線の延伸開業も2015年に迫ってきましたが、どのような対応をされているのでしょうか？

今井 金沢までは着工が認可されていますが、それが大阪までつながるよう、運動を続けています。

また、延伸開業に伴い、現在、「長野新幹線」という名前が定着しているので、それがそのまま使えないかという提案をしています。なぜなら、「長野」の名前が抜けると、東京から来る人には、長野を通ることがわからなくなってしまう恐れがあるのです。

長野駅の先には上越市があり、開業する新幹線が通りますが、上越新幹線の上越と同じ名前であるため、上越新幹線が通るのかと誤解されかねません。「長野北陸新幹線」や「北陸長野新幹線」にするなど、なんとか長野の名前が残るように運動をしているところです。

また、長野県では最近、観光部をつくって積極的に誘客の取り組みを開始しています。現在、商工会議所としても、新幹線の駅をもつ佐久、上田、長野、飯山（予定）の4つの商工会議所に、沿線の小諸、千曲、須坂、中野の4つの商工会議所が加わり、「長野新幹線沿線商工会議所連絡協議会」をつくって、開業までの2年半の間により多くの誘客ができるように検討を進めています。

現在、東京から金沢、富山へ行く時には、飛行機を使うか、上越新幹線の越後湯沢駅経由で行くので、長野を通りません。しかし、長野新幹線が北陸まで延伸すると、ほとんどの人が長野を通過して移動することになり、長野を通過していく人が7割増えます。単なる通過ではなく長野で降りていただけるよう、また金沢、富山の人たちにも新幹線を使って、長野へ来ていただけるように、長野の魅力をつくっていかなければいけません。

また、この機会に、富山と金沢と組んで、関東、関西、中部のお客様に来ていただけるような取り組みもしていきたいです。

—新幹線開業後の並行在来線の支援についてお聞かせください。

今井 長野まで新幹線が開業したときには、並行在来線がJR東日本から切り離されて、第三セクターの「しなの鉄道株式会社」ができました。地域をあげて、しなの鉄道を「地域の足」として残していこうと、商工会議所も一部出資をして、県連の会長が、同社の取締役会長になっています。

また、しなの鉄道を支援するために、観光面で利用客を増やそうと、「しなの鉄道沿線観光協議会」をつくり、沿線の会議所も参加して協力しているところです。新幹線の延伸後は、県境の妙高高原駅までが、しなの鉄道の沿線となりますから、さらなる応援をしていきます。

5. 観光振興

世界中に名前が知られているのは
長野の財産

—オリンピックなどの開催で、海外での知名度も高いと思われませんが、インバウンド客増強についてはどのようにお考えでしょうか？

今井 オリンピックの開催後、長野の名前は世界中の地図にのるようになりました。それはわれわれの財産です。ただ、スイスやハワイなどと比べれば、世界的な観光地という位置づけにはなっていません。一応、名前だけは知っていただいた状況で、県としてこれからインバウンドに力を入れようとしています。

例えば、白馬でオーストラリア人がスキー客のペンションを経営したり、中国、韓国、台湾の観光客が、黒部ダムや日本アルプスに行くルートとして長野を通ったりという動きがあり、長野市内のホテルも外国人観光客でにぎわいました。それが、大震災の風評被害でがたっと落ちましたが、最近、徐々に戻りつつあります。県や各地の観光協会は、さらにインバウンド客を増やしていくための方策を練っています。

また、国内ではスキーやスノーボードのような

ウィンタースポーツがかつてのような人気を失っているのでは、それをなんとか復活させようというプロジェクトも始まりました。インバウンド客とスキー場をどのように結びつけるのかも課題です。台湾や中国の南部の方は雪を見たことがない。そういう人たちにどうやってスキー体験をしてもらい、ファンをつくっていくかも考えていきたいです。

県内唯一の空港である松本空港には国際線はありませんがチャーター便を飛ばすことはできます。今後の国際化や国内線の複便化に期待をしたいところです。富山空港、新潟空港、中部国際空港といったところから、どのようにお客さんを誘致するかについても考えていかないとはいけません。

—県連のホームページには「信州の産業観光サイト」を設けられていますね。

今井 日本商工会議所が産業観光に力を入れていますが、われわれも長野県の産業観光の受け入れができる企業をリストアップして、冊子やホームページをつくるなどしています。そうしたなか、今秋、岡谷市で「全国産業観光フォーラムinおかや」（2012.10.11～12）が開催されます。



全国産業観光フォーラムinおかや

<http://www.kanko-okaya.jp/forum/index.html>

全国の産業観光を推進している地域や関連企業などが一堂に会し、産業観光の先進事例の紹介や情報交換を行うとともに、産業観光に係る人材育成、ビジネスモデル化の検討を行うことにより、産業観光のさらなる活性化と地域振興を図ります。

善光寺以外の観光地づくり

ー長野市の観光振興についてお聞かせください。

今井 長野市は善光寺が観光の中心ですが、そのさらなる発展と善光寺以外の魅力づくりをしています。

中心市街地から善光寺まで雰囲気よく歩けるように灯籠や石畳を整備したり、7年ごとの善光寺御開帳の開催に合わせて行っていた「ながの祇園祭」を今年から毎年の開催に復活させたいという取り組みをしています。

また、「長野えびす講煙火大会」という花火大会を毎年11月23日に開催しています。通常、花火大会は夏に開催されますが、長野では昔から晩秋の風物詩として行っており、日本で一番遅く開催される花火大会だと思います。



第106回長野えびす講煙火大会（2011年11月23日）
長野えびす講煙火大会写真コンテスト最優秀作品

以前は5千発だった花火をこの3年ほどで1万発に増やして、「ミュージックスターメイン」という音楽と融合した速射連発花火（スターメイン）に力を入れました。

これが花火ファンの皆さんの目にとまるようになり、全国からお客さんが大勢訪れるようになりました。今年は1万円の席を150席用意しましたが、3時間ほどで売り切れてしまいました。また、4千円の席もあり、こちらは団体客が中心で、その日は長野に宿泊して次の日は長野市内の食の祭典というイベントへ行くというツアーも組めるようになってきました。

一方、善光寺についても新しい取り組みをしています。現在、善光寺を訪れる観光客の多くは、善光寺裏の駐車場にバスを止めてお参りをしてお賽銭を入れて、近くのお土産屋さんで1軒寄って、500円～1,000円を使って、トイレを使ったらバスに乗って帰ってしまう（笑）。われわれとしては、善光寺を訪れる観光客のみなさんに市内の商店街にも来てほしいのです。長野駅から善光寺まで約1.8kmありますが、せめて、その半分くらいは歩いてもらいたいのです。

そこで、今年から長野市では、善光寺の表参道に面したセントラルスクウェア（オリンピックの表彰会場）を観光バスの駐車場とし、ボランティアガイドが観光客をそこから善光寺の中まで案内するという試みを実施します。

そうした観光への取り組みで、前回の善光寺の御開帳（2009年）時は約673万人の観光客がいらっしゃいましたが、次の御開帳（2015年）時は700万人を目指して準備を始めています。



善光寺（写真提供：善光寺）

ー長野市では、松代も観光地として整備されてきていますね。

今井 松代町は1966年に長野市と合併しましたが、その後、ほとんど開発がされてきませんでした。ところが、そのおかげで武家屋敷などの貴重な歴史的文化遺産が数多く残されていたのです。良い財産だということで「エコール・ド・まつしろ」（フランス語で「松代の学校」の意味）というキャッチフレーズで地域を学校に見立てる観光事業を展開しています。

私も9年前に松代商工会議所の専務理事として、市の担当と一緒に「エコール・ド・まつしろ」の事業推進に尽力しました。

市は建物や道路を直すなどのハード事業を行い、商工会議所ではソフト事業を中心に、ボランティアによる観光案内チームを結成したり、お祭りやPRをしたり、町の皆さんの先頭に立って観光ムードを盛り上げました。すると、それまで年間20～30万人しか来なかった観光客が、80万人くらいまで増えたのです。

市も、市内各町に予算をばらまいていたのを改めて、1年間は松代に集中して予算をつけ、次の年は他の地域へという予算配分を行うようになり、思い切った事業ができるようになりました。松代は5年後に2回目の予算がついたのでまた大きな事業を行いました。

長野も松代もまだまだ観光資源がたくさんありますので、それらをクローズアップしながら、観光客が楽しんで滞在時間を伸ばしてもらえるようにしていきたいです。



松代藩 真田十万石まつり

ー松代までの公共交通機関はどうなっていますか？

今井 現在、大体1時間に平日は1～3本、休日が1～2本のバスが走っています。

松代へは、昔、生糸産業のために敷設された千曲市の屋代駅から須坂市の須坂駅までを結ぶ長野電鉄の鉄道路線が通っていたのですが、それが今年、廃線となりました。その鉄路を活用して、LRT（軽量軌道交通、ライトレール）をつくってほしいという運動が始まり、市が研究を始めたところです。

ー観光の魅力の一つに「食」がありますね。

今井 長野には「おやき」という郷土食があります。もともと家庭で作られていたものですが、今は店で売られるようになりました。長野といえば「そば」が知られていますが、われわれはおやきも全国に発信しようと、長野商工会議所で「信州おやき協議会」という組織をつくりました。

おやきといっても、いろいろな作り方があります。灰の中で焼くような昔からの伝統の作り方もありますし、最近では洋菓子風の形も出ています。それぞれの特色を大事にして、それぞれで頑張りたいと、おやきを売っているお店に広く呼びかけて、「信州おやき」という共通の名前で売っていく取り組みをしています。東京でおやきのデモンストレーションをしているうちに、ここ1年ほどは、おやきが評価されるようになってきた手ごたえを感じるようになってきました。



家庭ごとにさまざまな製法がある信州の郷土食「おやき」
（写真提供：信州おやき協議会）

－塩尻ではワインが有名ですね。

今井 塩尻のワインは地道な取り組みを続けたことで、みなさんに認知いただけるようになりました。最近では、温暖化によって、ぶどうの耕作地がどんどん北の方へ広がっています。県内にいくつも産地ができていますので、長野県全体でもPRしていければいいと思います。

行政上の長野県の位置づけは複雑

－最後に、長野県からみて、中部圏、あるいは中京圏とのつながりについてお聞かせください。

今井 長野県は行政上の区分が複雑で、例えば経済産業省は関東経済産業局、国土交通省は北陸信越運輸局、農林水産省は中部森林管理局に区分さ

れています。

特に、北信、長野市周辺は、名古屋との時間距離が長いので、どうしても、関東との連携が強くなっています。名古屋と長野の関係は希薄に見えますが、ぜひ中京圏、名古屋方面ともたくさん関わりができ、お互いの活性化がはかれるといいなと期待しています。

観光という点では、名古屋から信州松本方面には来ていただいていると思いますが、松本から長野までどう足をのばしてもらおうかという課題もありますので、そのあたりを研究しながら対応していきたいです。

以上

数字で見る長野県の姿

県庁所在地：長野市 人口 386,931人 (2012年 8月1日現在)

面積	積	13,562 (km ²)	2010年
市 町 村	数	77 (市町村)	2011年12月
総 人 口		2,154 (千人)	2010年度
総 世 帯 数		820 (千世帯)	2010年度
人 口 密 度		159 (人/km ²)	2010年
就 業 者 数		1,151 (千人)	2005年
外 国 人 登 録 者 数		35,186 (人)	2010年
者 産 業 別 就 業 者 数 構 成 比	第 1 次 産 業	11.4 (%)	2005年
	第 2 次 産 業	30.8 (%)	2005年
	第 3 次 産 業	57.0 (%)	2005年
県 内 総 生 産		8,035 (10億円)	2008年度
一 人 当 たり 県 民 所 得		2,717 (千円/人)	2008年度
事 業 所 数		125 (千事業所)	2009年
鋳 工 業 生 産 指 数		85.8 (05年=100)	2010年
消 費 者 物 価 指 数		99.3 (05年=100)	2010年
農 業 産 出 額		213 (10億円)	2009年
製 造 品 出 荷 額		4,984 (10億円)	2009年
卸 売 業 年 間 販 売 額		3,459 (10億円)	2007年
小 売 業 年 間 販 売 額		2,374 (10億円)	2007年
情 報 サ ー ビ ス 業 売 上 高		79 (10億円)	2009年
大 学 等 進 学 率		49.9 (%)	2010年
乗 用 車 保 有 台 数		38 (台/百人)	2009年度